

● インテークカムスプロケットの圧入

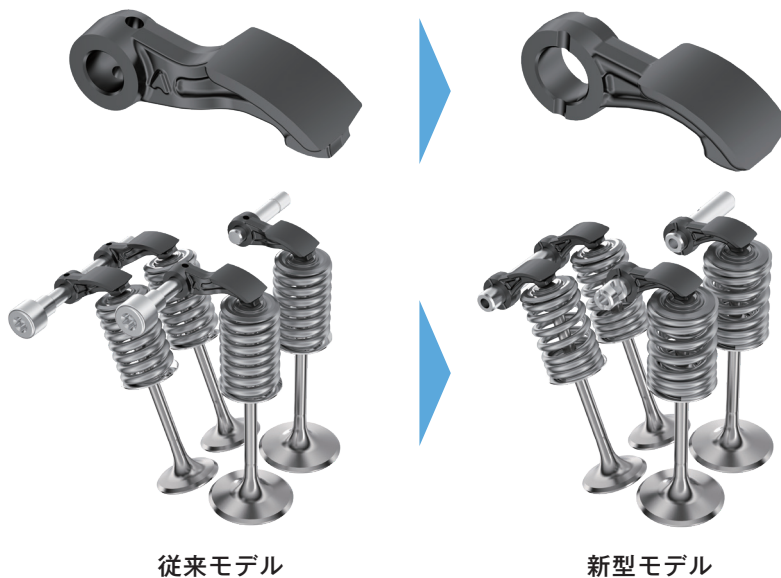
インテークカムスプロケットの締付を圧入構造とすることで、軽量化とバルブタイミングの精度向上を両立

● 油圧経路の変更

カムジャーナルへの給油構造を見直し、タフネス性向上に寄与

● 高回転時のバルブモーション軽減

ロッカーアームの軸配置のアライメントを見直すとともに、軽量化を実現。インテークバルブスプリングをシングルタイプからダブルスプリングに変更することで、高回転時のバルブモーションを軽減させバルブタイミングを最適化



● ヘッドの締付剛性向上

カムホルダーとヘッドの剛性を高め、カムジャーナルの真円精度を向上させることでフリクションを低減

